

第5回アジア臨床工学フォーラムが開催されました

11月6日（土）に新大阪の地で、アジアにおける臨床工学の発展と技術・人材の相互交流への貢献を期して、アジア臨床工学フォーラムが開催されました。

2012年に第1回が開催され、第5回となる今回は「アジア臨床工学の“情報科学発展と医療安全への貢献”」がテーマでした。また、この4月に滋慶医療科学大学医療科学部臨床工学科の開設記念としての大会でもありました。

本フォーラムでは、招聘講演2題、特別講演1題、教育講演2題と、シンポジウムI・II、パネルディスカッションが盛り込まれました。シンポジストは計9人、パネリストは6人でした。



コロナ禍の状況での開催とあって、感染対策には十分に留意しつつ、会場とオンラインのハイブリッドでの開催となりましたが、国内からは日本の臨床工学や医療機器分野で中心となって活躍されている多くの方にご来臨又はオンラインでご講演等をいただくとともに、中国、中国（台湾）、バングラデシュ、ネパール、タイ、ミャンマーからオンラインで講演等を賜りました。



会場での御講演（川崎忠行先生）



海外からオンラインでの御講演

本学からは、シンポジウムで吉田靖教授、黒光弘幸准教授がシンポジウムで演題を発表するとともに、廣瀬稔教授と加納隆大学院特任教授がそれぞれシンポジウム、パネルディスカッションの司会を務めました。



滋慶医療科学大学 吉田靖教授



滋慶医療科学大学 黒光弘幸准教授



滋慶医療科学大学大学院 加納隆特任教授



滋慶医療科学大学 廣瀬稔教授

会場には本学学生・教員や姉妹校の臨床工学技士科の学生等が参加させていただきました。本学学生にとって、多くの先生方から様々な話を聞いたことは大変貴重であったと思います。病院の現場の話だけでなく、医療機器関連企業の現場や海外に関する講演は有意義だったことでしょう。また、こうした国際的なフォーラムの場への参加や同時通訳による進行などは、ほとんどの学生が初めての体験だったのではないのでしょうか。



開会前に教員と雑談



同時通訳機を利用して聴講

会場外のスペースには、国内外の学生によるポスターセッションの展示が行われました。フォーラムの最後で優秀ポスター賞の授賞式が行われましたが、次回以降本学学生が賞をいただけるようになることを願っています。



ポスター展示会場



ポスター展示会場

学生は本フォーラムに参加し、日本だけでなく海外における臨床工学分野の現状や課題などについて知見を得たことで視野が広がったのであれば嬉しいことです。また、将来、臨床工学分野で国際的に活躍する人材が育ってもらえればありがたいです。本学としてもそのような人材養成に一層尽力していきます。



終了後、本学の学生と教員で記念撮影